

ニュース高等専修

平成29年度 文部科学省委託事業 ～成果報告会～

「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」



②「混合教育の教育効果の実証と普及・啓発及び発達障害など特別に配慮が必要な生徒が学ぶための教育カリキュラムの開発・実証事業」(報告:武蔵野東高等専修学校)③「発達障害のある生徒など特別に配慮が必要な生徒の就労支援及び卒業後の定着フォロー支援の普及事業」(報告:武蔵野東高等専修学校)の3本が発表されました。

特に発達障害分野の成果報告では、卒業生の定着フォロー支援として、就労1年目の春と秋に就労者の定期訪問を実施したほか、問題を抱えていた就労者には短期間に数回訪問したことが紹介されました。また卒業生の就労の様子を取りまとめたDVDも制作、成果報告を行った武蔵野東高等専修学校の渡辺正司校長は「保護者はもちろん、障害のある子供たちを採用する企業側にもこのDVDを活用してほしい」と語っていました。

質疑応答のあと、文部科学省生涯学習政策局専修学校教育振興室の田口大介専修学校第二係長が講評を述べました。田口係長は「理美容系の開発プログラムがサロンでも使える内容になっており、今後の活用が期待されます」「たくさんの方の生徒が参加した結果、ICT教材のブラッシュアップが図られ、アンケートもしっかり取って実証しています」「発達障害の方はどのような形で就労しているのでしょうか。そこが見えにくい部分でもあります。DVD等で社会に羽ばたいていく卒業生の姿は保護者や企業にとって不安を取り除く上で、大変すばらしい内容です」などと6本の成果報告一つひとつにコメントを付けて講評しました。



平成29年度文部科学省委託事業『高等専修学校高専連携分野・発達障害分野』の合同成果報告会が2月16日、東京・千代田区九段北のアルカディア市ヶ谷で開かれました。

文部科学省委託事業・平成29年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の一つです。

まず全国高等専修学校協会の清水信一会長があいさつで「文部科学省初等中等教育局は『障害のある

園児や児童、生徒と障害のない生徒らとの交流や学習を増やさない』という通知を各都道府県の教育委員会に発出しました」と報告した上で、「我々高等専修学校はインクルーシブな環境の中で、多くの発達障がいのある生徒を社会に送り出してきた実績があります。本日はこれまで先導してきた事例を報告してもらい、高等専修学校の魅力を広く社会に発信していきたい」と語りました。

高等専修学校高専連携分野の成果報告では①「サロン類型に応じた実践的接遇ができる美容師人材育成のプログラム開発」(報告:国際理美容専門学校)②「高等専修学校におけるインターンシップ及びICT教材の活用による教育プログラムの開発」(報告:大岡学園高等専修学校)



成果報告会であいさつする
清水会長



講評を述べる専修学校教育振興室の
田口第二係長

③「高等専修学校における介護福祉人材養成のための産学官連携による実践的な職業教育の構築—地域版教育プログラムの開発・検証—」(報告:安城生活福祉高等専修学校)の事業成果がそれぞれの幹事校によって発表されました。

②のIT・ビジネス分野の今年度の主な取り組みは「開発したICT教材を利用した実証講座の実施」「ICT教材のブラッシュアップ」で、実証講座の受講生総数は868人でした。教材の利用者である教員から「使い勝手」、受講生の生徒から「学びやすさ」のアンケートも実施しています。

一方、高等専修学校発達障害分野の成果報告では①「高等専修学校における発達障害もしくは支援や特別措置が必要な生徒に対する支援システムの構築」(報告:大岡学園高等専修学校)

(独)日本スポーツ振興センターの「災害共済給付制度」に全ての高等専修学校生徒が加入しましょう。

【災害共済給付制度の特色】 ●低い掛金で厚い給付が行われます。●学校の責任の有無にかかわらず、給付の対象となります。●学校の責任において提供した食物による0-157等の食中毒、熱中症やいわゆる突然死も給付の対象となります。

第27回全国高等専修学校体育大会

10競技34種目で熱戦繰り広げる



開会式であいさつする(上から)全国高等専修学校協会清水信一会長、NPO高等専修教育支援協会・堀居英治理事長、赤池誠章参議院議員、文部科学省生涯学習政策局専修学校教育振興室宮本一郎専門官



高等専修学校生のスポーツの祭典「第27回全国高等専修学校体育大会」(全国高等専修学校協会、NPO高等専修教育支援協会主催、全国高等専修学校協会体育振興委員会主管、文部科学省、山梨県、富士吉田市、富士河口湖町、公益社団法人東京都専修学校各種学校協会、専門学校新聞社後援)が7月24日から3日間、山梨県富士吉田市の富士北麓公園体育館をメイン会場に開かれました。

この祭典は、高等専修学校相互の交流とスポーツを通して健全な精神の涵養、体力の向上などを目的としています。職業教育に取り組む高等専修学校生にも、同年代の高校生と同様に、高校総体のような「夢舞台」を与えようと選手、教職員が一体となり、平成3年から手作りの大会を開いています。

世界遺産の富士山を戴く北麓公園体育館で開かれた開会式には、大会役員、選手ら約730人が出席しました。まず主催者を代表して全国高等専修学校協会の清水信一会長が、長年の懸案であった独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度の加入が認められたことを報告しました。また、清水会長は甲子園

野球の東・西東京大会開会式で行った早稲田実業学校野球部の清宮幸太郎主将による宣誓を引用、「野球」を「高等専修学校」に置き換えて紹介した。「私たちは高等専修学校を愛しています。私たちは高等専修学校に出会い、職業教育に魅せられ、高等専修学校によって様々な経験を重ねてこの場に立っています」と選手らに語りかけました。その上で「皆さんの活躍が全国の高等専修学校生の前進に一歩でもつなげることを信じています。日頃の練習の成果を発揮してください」とあいさつしました。

また、NPO高等専修教育支援協会の堀居英治理事長は「大会を支えている来賓や関係者、保護者らに感謝の気持ちを伝えましょう」と呼びかけたあと、選手全員で「ありがとうございます」「よろしくお願ひします」と大きな声であいさつを交わしました。

続いて来賓を代表して、文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課専修学校教育振興室の宮本一郎専門官が「将来の夢に向かい勉学に励むとともに、仲間と汗を流し、励まし合いながら過ごした時間は皆さんの一生の思い出になります。先生による厳しくも温かい指導のもと、一生懸命練習を重ねた成果を存分に発揮し、活躍することを期待します。さらに全国から集まった多くの仲間と語り、皆さんにとってこの大会が青春の一ページとなることを願っています」と廣野宏正室長の祝辞を代読しました。また赤池誠章参議院議員は「国会で法律を改正して皆さんが災害共済給付制度に加入することができるようになりました。時間はかかりましたが、今年は加入が認められた最初

の体育大会になりますので、一生懸命頑張ってください。引き続き全力で皆さんをバックアップしていきます」と語りました。

これに答えて、野田鎌田学園杉並高等専修学校の高田大洋選手、富士コンピュータ専門学校高等課程の吉田友恵選手が「富士山の麓で仲間を信じ、自分を信じてスポーツの神様に愛されるよう全力で挑みます」と力強く選手宣誓を行いました。

今大会には福島、東京、神奈川、愛知、大阪、岡山など11都府県21校の選手が出場。軟式野球、バレーボール、バスケットボール、陸上競技、自転車競技など10競技で熱戦が繰り広げられました。

競技の結果、大竹高等専修学校が女子バスケットボール、同陸上競技400㍍リレー、同駅伝競走、フットサルの4種目を制したほか、生蘭高等専修学校が軟式野球、男子卓球、女子バドミントンの3種目、大和商業高等専修学校が男子バレーボール、同バドミントンの2種目で有終の美を飾りました。このほか、富士コンピュータ専門学校高等課程が女子バレーボール、町田調理師専門学校高等課程が男子バスケットボール、郡山学院高等専修学校が女子卓球、専門学校野田鎌田学園高等課程が男子陸上競技400㍍リレー、専修学校中部国際自動車大学校高等課程(岐阜県)が男子自転車競技、豊野高等専修学校(長野県)がスポーツ吹矢、武蔵野東高等専修学校(東京都)が男子駅伝競走でそれぞれ団体優勝しました。

なお、各競技の準優勝チームには専門学校新聞社からトロフィーが贈られました。



成績結果

■軟式野球

①生蘭高等専修学校②大和商业高等専修学校

■バレーボール

【男子】①大和商业高等専修学校②大竹高等専修学校

【女子】①富士コンピュータ専門学校高等課程②安城生活福祉高等専修学校

■バスケットボール

【男子】①町田調理師専門学校高等課程②大竹高等専修学校③大和商业高等専修学校

【女子】①大竹高等専修学校②安城生活福祉高等専修学校③富士コンピュータ専門学校高等課程

■卓球

【男子】▶**団体**①生蘭高等専修学校②東朋高等専修学校③郡山学院高等専修学校、武蔵野東高等専修学校

▶**個人**①小幡光輝（生蘭高等専修学校）②大山流清（同）③大山将人（同）松浦大翔（東朋高等専修学校）

【女子】▶**団体**①郡山学院高等専修学校②東放学園高等専修学校

▶**個人**①古橋佳純（生蘭高等専修学校）②大堀紗季（郡山学院高等専修学校）③三原里奈（安城生活福祉高等専修学校）藤本梨樹（東放学園高等専修学校）

■フットサル

①大竹高等専修学校②大和商业高等専修学校

■自転車

【男子】▶**団体**①専修学校中部国際自動車大学校高等課程②野田鎌田学園並高等専修学校

▶**個人**①小木曾聖人（専修学校中部国際自動車大学校高等課程）②塚原柁平（専門学校野田鎌田学園高等課程）③田邊恭太郎（野田鎌田学園並高等専修学校）

等専修学校）

【女子】▶**個人**①落合通（大竹高等専修学校）②下田瞳羽（同）③長谷川姫羅々（同）

■バドミントン

【男子】▶**団体**①大和商业高等専修学校②豊橋ファッション・ビジネス専門学校高等課程

▶**個人**①伊藤孔（大和商业高等専修学校）②小林将貴（同）③中本駿也（同）安齋北斗（生蘭高等専修学校）

【女子】▶**団体**①生蘭高等専修学校②町田調理師専門学校高等課程

▶**個人**①村西歩美（国際パティシエ調理師専門学校高等課程）②田中涼楓（東放学園高等専修学校）③鈴木美緒（町田調理師専門学校高等課程）山田瑞希（同）

■スポーツ吹矢

▶**団体**①豊野高等専修学校②生蘭高等専修学校

▶**個人**①中俣京佑（豊野高等専修学校）②酒井優樹（同）③山田航星（生蘭高等専修学校）

■駅伝競走

【男子】①武蔵野東高等専修学校②大竹高等専修学校③専門学校野田鎌田学園高等課程

【女子】①大竹高等専修学校②東朋高等専修学校

■陸上

▶種目別成績結果

【男子】▷**100m**決勝=①浅田葵（東朋高等専修学校）②専徒太陽（富士コンピュータ専門学校高等課程）③伊藤楓（専門学校野田鎌田学園高等課程）

▷**400m**決勝=①池水勇輝（富士コンピュータ専門学校高等課程）②岩崎蒼（武蔵野東高等専修学校）③土屋貴寛（専門学校野田鎌田学園高等課程）

▷**800m**決勝=①池水勇輝（富士コンピュータ専

門学校高等課程）②山谷祥（生蘭高等専修学校）

③田中穰太郎（武蔵野東高等専修学校）

▷**1500m**決勝=①川村拓斗（富士コンピュータ専門学校高等課程）②中島幸紀（武蔵野東高等専修学校）③山谷祥（生蘭高等専修学校）

▷**走り幅跳び**=①伊藤聖人（大和商业高等専修学校）②坂口登哉（東朋高等専修学校）③伊藤楓（専門学校野田鎌田学園高等課程）

▷**砲丸投げ**=①菅谷ニコ（専門学校野田鎌田学園高等課程）②塚原柁人（同）③馬場虎太郎（同）

▷**4×100m**リレー決勝=①専門学校野田鎌田学園高等課程②武蔵野東高等専修学校③野田鎌田学園並高等専修学校

【女子】▷**100m**決勝=①中村明日香（野田鎌田学園並高等専修学校）②榊枝敦子（専門学校野田鎌田学園高等課程）③下田瞳羽（大竹高等専修学校）

▷**400m**決勝=①池田椿（専門学校野田鎌田学園高等課程）②村尾陽海香（大竹高等専修学校）③長谷川姫羅々（同）

▷**800m**決勝=①天野結子（大竹高等専修学校）②中村優咲（同）③池田椿（専門学校野田鎌田学園高等課程）

▷**1500m**決勝=①天野結子（大竹高等専修学校）②中村優咲（同）

▷**走り幅跳び**=①須藤舞（生蘭高等専修学校）②榊枝敦子（専門学校野田鎌田学園高等課程）③東瑠佳（大和商业高等専修学校）

▷**砲丸投げ**=①村田真郁（専門学校野田鎌田学園高等課程）②東瑠佳（大和商业高等専修学校）③落合通（大竹高等専修学校）

▷**4×100m**リレー決勝=①大竹高等専修学校②野田鎌田学園並高等専修学校③東朋高等専修学校

平成 29 年度 高等専修学校への都道府県の助成状況

県名	運営費補助 @…生徒一人あたり	設備費 補 助	生徒へ の助成	授業料 軽減	本会 会員校数	H29 高等課程 生徒数
☆ 北海道	学校法人立指定校・技能連携校 @63,707 円 その他学校法人立 @40,258 円		○	○	5	1,145
☆ 青 森	学校法人立（生徒数が収容定員の 3 分の 1 以上等） @28,230 円 非学校法人立（生徒数が収容定員の 3 分の 1 以上等） @12,767 円		○	○		211
岩 手	学校法人立 @35,960 円		○		3	132
☆ 宮 城	学校法人立指定校 1 校 60 万円と @32,841 円 その他学校法人立 @20,421 円	○			1	217
秋 田			○			86
☆ 山 形	学校法人立指定校・技能連携校 @71,914 円 学立以外 @11,182 円		○	○	2	32
	私立高等学校等特別支援教育事業補助金 高等課程（特別支援教育支援員の配置）@1,800,000 円×1 校					
☆ 福 島	学校法人立指定校 @47,000 円 その他学校法人立 @23,500 円 非学校法人立指定校 @15,600 円 その他非学校法人立 @ 7,800 円			○	7	981
☆ 茨 城	学校法人立 @75,000 円		○	○	1	653
栃 木	学校法人立 専修学校及び各種学校総額 41,080 千 円				2	560
群 馬	学校法人立・財団法人立指定校 @80,400 円 学校法人立・財団法人立非指定校 @20,040 円		○	○	3	367
☆ 埼 玉	法人立 @78,560 円		○	○	3	741
☆ 千 葉	学校法人立 @174,108 円		○	○	4	790
☆ 東 京	学校法人立 @160,600 円 非学校法人立 @53,500 円 私立専修学校特別支援教育事業費補助金（1） @752,500 円	○	○	○	29	2,743
☆ 神奈川	学校法人立 @143,747 円 非学校法人立 @21,700 円			○	7	1,409
☆ 新 潟	学校法人立 @22,500 円		○	○		148
富 山		○	○	○	1	169
☆ 石 川	学校法人立指定校・非指定校含む @35,900 円	○	○			40
福 井	学校法人立指定校 @45,000 円			○	2	89
山 梨	学校法人立（県内生） 1 校 50 万円と @ 4,000 円 学校法人立（県外生） 1 校 50 万円と @ 2,000 円					89
☆ 長 野	学校法人立（3 年制一般補助） @46,440 円 学校法人立（3 年制特別補助として加算） @45,000 円		○	○	2	247
☆ 岐 阜	学校法人立技能連携校 @61,366 円		○	○	6	724
☆ 静 岡	学校法人立 @91,530 円	○	○		11	1,303
☆ 愛 知	学校法人立 @136,114 円 非学校法人立 1 校 978,600 円		○	○	25	7,393
☆ 三 重	学校法人立指定校 1 校 15 万円と @28,957 円 学校法人立非指定校 @19,241 円		○	○		870
滋 賀	学校法人立技能連携校 @80,000 円		○		1	94
京 都	学校法人立（修業年限 3 年以上） 1 校 270 万 円 学校法人立（修業年限 3 年未満） 1 校 230 万 円 複数学科加算分 1 学科 55 万 円	○	○	○		513
☆ 大 阪	学校法人立 @308,050 円	○	○	○	23	5,291
☆ 兵 庫	学校法人立大学入学資格付与校 @141,356 円		○	○	20	1,608
☆ 奈 良	学校法人立 1 校 120 万と @35,500 円			○	5	256
和歌山	学校法人立 @30,000 円	○				98
☆ 鳥 取	（専修学校全体） 16 校 総額 9,314 万 5 千 円			○	6	338
☆ 鳥 根	学校法人立指定校 @104,594 円 学校法人立非指定校 @19,299 円	○		○		147
岡 山		○	○		2	276
広 島	学校法人立（3 年制） @36,000 円			○	5	1,013
☆ 山 口	学校法人立指定校 @72,000 円		○	○	1	517
徳 島			○	○	1	221
香 川			○			168
愛 媛				○		181
高 知	学校法人立 @21,160 円			○	2	51
福 岡	学校法人立指定校 @22,500 円	○	○		3	2,387
佐 賀	学校法人立 @11,262 円	○	○	○	3	749
長 崎	学校法人立 @6,300 円					439
熊 本	学校法人立指定校 @15,000 円		○	○	4	791
大 分						393
☆ 宮 崎	学校法人立 @269,900 円		○		2	593
鹿児島	（学校法人立専修学校全体） 総額 3,322 万 1 千 円				2	89
沖 縄	学校法人立指定校 @ 70,000 円			○	2	233

(1) 交付年度 5 月 1 日現在障害児が在籍。

(☆印は前年度比単価等が増額した都道府県)

H29 会員校数

H29 生徒数

196

37,585

発行：全国高等専修学校協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25(私学会館別館)

TEL.03(3230)4814 FAX.03(3230)2688